【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【公開番号】特開2006-128048(P2006-128048A)
【公開日】平成18年5月18日(2006.5.18)
【年通号数】公開・登録公報2006-019
【出願番号】特願2004-318329(P2004-318329)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｊ　9/227　(2006.01)
Ｈ０１Ｊ　11/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｊ　9/227　Ｅ
Ｈ０１Ｊ　11/02　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成19年7月20日(2007.7.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
多数の隔壁が形成された基板に特定形状のメッシュ状の開口部を有するスクリーンマスクを配置し、
スクリーンマスク上に蛍光体ペーストを塗布し、
蛍光体ペーストをヘラで押圧してスクリーンマスクの開口部から蛍光体ペーストを吐出させることで、隔壁で囲まれたセルとなる凹部に蛍光体ペーストを充填することからなり、
隔壁は、セルとなる凹部がそれぞれ独立した空間となるように基板上に形成され、
スクリーンマスクは、その開口部が、蛍光体ペーストをセルとなる凹部に充填するためにセルとなる凹部に対応する位置に形成された充填用開口部と、充填用開口部と充填用開口部との間に形成されセルとなる凹部に蛍光体ペーストが充填される際にセルとなる凹部に溜まった空気を外部に排出する排気用開口部からなるＰＤＰの蛍光体ペースト塗布方法。
【請求項２】
スクリーンマスクの排気用開口部が、充填用開口部と充填用開口部とを直線的に結ぶ一定幅のスリット開口部として形成されてなる請求項１記載のＰＤＰの蛍光体ペースト塗布方法。
【請求項３】
スクリーンマスクのスリット開口部が、４０～６０μｍの一定幅のスリットとして形成されてなる請求項２記載のＰＤＰの蛍光体ペースト塗布方法。
【請求項４】
スクリーンマスクの充填用開口部が、４２０～５６０μｍ×１００～１４０μｍの大きさの矩形の開口部として形成されてなる請求項２記載のＰＤＰの蛍光体ペースト塗布方法。
【請求項５】
パネルの背面側の基板上に隔壁で区画されたセルがそれぞれ独立した凹部空間として縦横に配列された構成を有するＰＤＰの前記凹部空間に蛍光体ペーストを充填印刷するマス

ク装置であって、

前記マスク装置は、蛍光体ペーストを充填すべき凹部空間の配列位置と形状に対応した充填用開口部と、蛍光体ペーストを刷り込むスキージの移動方向に隣接した充填用開口部間を直線的に結ぶように形成された前記充填用開口部の幅よりも狭いスリット状の排気用開口部とを備えたスクリーンマスクを主体としてなることを特徴とするＰＤＰの蛍光体ペースト充填印刷用マスク装置。